

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0416	地域おこし促進事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的						
対象						
意図						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<p>リノベーションまちづくり（小さいリノベーション）手法により、中心市街地の再生並びに持続的都市経営を実現を目指す。</p> <p>担い手は、自立した民間まちづくり会社（家守会社）であり、その育成・支援が行政の役割の一つである。</p> <p>増加し続けるまちの遊休不動産、公共空間を活用し、事業（収益事業）を連続的に興し、まちに新たな雇用を創出することがリノベーションまちづくりの本質であり、行政は、そうした民間まちづくり会社が「稼ぐ」ことをサポートしなければならない。</p> <p>まずは、H27中に設立された榊花巻家守者のサポートを行い、さまざまな事業の実現を加速するとともに、リノベーションまちづくりの担い手となる家守候補や店子候補を集める、リノベーションまちづくりを広げる役割を担う。</p>						
市民参画の有無 [基本的に民間主導であり、行政はサポート]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	民間を巻き込む勉強会の開催	回	計画			
			実績		2	
②	公共空間を有効活用する社会実験イベントの開催	回	計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	エリアマネジメントを行う民間チームの設立	件	目標			
			実績		1	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<p>・H27.4.1に設立した榊花巻家守者のサポートを中心業務としており、期待どおりの成果があった。</p> <p>・平行して、公共空間活用の構想、企画に取り組み始めたところ。公共の水辺空間活用を推進するミズベリング花巻の立ち上げなど、具体的な動きを開始しており、この点での成果はこれから。</p>		
目的妥当性	公共関与の妥当性	持続的な都市経営を行うことが目的の一つであり、行政は「稼ぐ」民間のサポートを行う必要がある。民間が稼ぐことができなくなれば、早晩、行政機能が維持できなくなる「消滅自治体」となる。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	<input type="radio"/> 妥当でない	
	成果の向上余地	全国的に波及しつつある取組だが、当市では初めての試み。成果を出すのはこれからである。概ね5年間で目に見える効果を出すのが目標。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
効率性	向上余地がない	
	事業費・人件費の削減余地	行政の責務として、庁内全組織の調整役となる専任体制の設置など最低限の人件費・事務費は削減できない。ただし補助金に依存しないことがテーマであり、その点で財政的な制約は全く生じない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
公平性	<input type="radio"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
	受益と負担の適正化余地	民間がオウンリスクでまちづくり実行すること、補助制度を創設しないことから、「受益と負担の適正化」の議論は生じ得ない。今後策定する都市政策に沿う考え方で、知恵、労力、自己資金を投じてエリアマネジメントを行う民間を、行政は分け隔てなくサポートする。
<input type="radio"/> 適正である		
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>・榊花巻家守者のサポート業務は、半年の成果を踏まえ、さらに高い水準へ移行することを期待。</p> <p>・また、公共空間活用や、他の家守候補、店子等の担い手の呼び込み、リノベーションまちづくりの広がりをつくる働き、成果に期待。</p>		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 建設部 課名 都市再生室 担当係長 伊藤直樹 内線 585

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0416	地域おこし促進事業

(単位：千円)

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			1,859		1,859
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		1,859		1,859

単位：千円

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	-------------------------------	-----------------

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

H25. 11. 25に公表した「まちづくりと施設整備の方向性」に基づき、中心市街地の再生並びに持続的な都市経営を実現するため、小さいリノベーション（民間主導エリアマネジメント）に取り組むこととなった。

事業概要

リノベーションまちづくり（小さいリノベーション）手法により、中心市街地の再生並びに持続的な都市経営を実現を目指す。
担い手は、自立した民間まちづくり会社（家守会社）であり、その育成・支援が行政の役割の一つである。
増加し続けるまちの遊休不動産、公共空間を活用し、事業（収益事業）を連続的に興し、まちに新たな雇用を創出することがリノベーションまちづくりの本質であり、行政は、そうした民間まちづくり会社が「稼ぐ」ことをサポートしなければならない。
まずは、H27中に設立された榊花巻家守者のサポートを行い、さまざまな事業の実現を加速するとともに、リノベーションまちづくりの担い手となる家守候補や店子候補を集める、リノベーションまちづくりを広げる役割を担う。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

家守候補、店子候補など担い手を継続的に集める仕掛け、仕組みの構築が課題。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

□地域おこし協力隊の業務

- リノベーションまちづくりを進める民間チーム（家守会社）のサポートを行う。
- ①基礎データ収集（遊休不動産情報、統計情報など）
 - ②社会実験（イベント）企画・サポート
 - ③リノベーション事業の企画・提案
 - ④各種研修参加（リノベーションスクール、公民連携プロフェッショナルスクール）
 - ⑤民間（家守）チームへ参画

□H27の取り組み状況

- ①基礎データ収集
大通り一丁目エリア内の遊休不動産オーナーとの連絡調整等を実施。
また、旧まん福活用調査（東北芸術工科大学）における資料収集をサポート。
- ②社会実験（イベント）企画・サポート
水辺空間活用を主眼とした「ミズベリング花巻」を旗揚げし、河川区域の活用の構想を開始した。（ミズベリング花巻には、「まち」と「水辺」をつなぐメディアとしての活動を、今後期待している）
- ③リノベーション事業の企画・提案
まちの遊休不動産のリサーチの段階であり、企画等は今後の課題。
- ④各種研修参加実績
 - ・12/12-13 まちのトレジャーハンティング@仙台
 - ・3/10-13 第10回リノベーションスクール@北九州
- ⑤民間（家守）チームへ参画
榊花巻家守者が主催する以下の事業へ参画、サポートした。
 - ・10/19 小友ビルオープニングセレモニー
 - ・11/22 リノベーションシンポジウム【民間を巻き込む勉強会】
 - ・3/19 co-ba hanamaki 断熱リノベ
- ⑥その他
 - ・榊花巻家守者が運営するコ・ワーキングスペース「co-ba hanamaki」のPR
 - ・他地域からの来客、視察等に対する対応

□H27決算

1 節	報酬・手当	1,164,720	10/1~3/31
4 節	共済費	133,465	10/1~3/31
9 節	費用弁償	267,810	
11 節	需用費（燃料費）	18,804	
14 節	賃借料（パソコン）	233,604	公用車222,912、パソコン10,692
19 節	負担金	40,000	R S北九州30,000、トレハン仙台10,000
合計		1,858,403	